

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

平成30年2月27日

北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		②事業実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果
にいがた交通戦略推 進会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する現状把握</li> <li>・上位計画等関連計画の整理</li> <li>・市民ニーズの把握</li> <li>・持続可能な地域公共交通網の実現に向けた課題の把握</li> <li>・法定協議会の開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで新潟市が実施してきた交通施策の実施状況及び達成状況について整理した。</li> <li>・モード別の利用者数など基礎的なデータや公共交通の状況の既存資料を収集整理した。</li> <li>・新潟市の総合計画等の上位計画や立地適正化計画等の関連計画との関連を整理した。</li> <li>・市政世論調査の結果等をもとに公共交通へのニーズを集計・分析した。また、2月にアンケート調査を実施し、年度内でとりまとめる予定。</li> <li>・上記内容及び昨年度実施した交通特性調査をもとに、課題を抽出し、整理した。</li> <li>・協議会に係る資料のとりまとめを行った。</li> <li>・協議会は予定していた4回のうち、3回目まで開催。</li> <li>・今後、事業内容をとりまとめ、平成30年度末までに協議会で議論していく。</li> </ul>	A 概ね計画通り事業は適切に実施されている。	<p>地域公共交通網形成計画を平成29年度から平成30年度までの二か年度で策定を予定している。具体的には「県都新潟の拠点化とずっと安心して暮らせるまちへ」を将来像として掲げ、住み慣れた地域でずっと安心して暮らせるまちを支える交通を実現するため、自家用車に頼ることなく安心して移動ができる環境を目指すとともに、県都新潟の拠点化を支える交通を実現するため、新潟駅の高架化を契機に、基幹公共交通の段階的整備を主眼を置いて、「公共交通ネットワークのあり方の検討」、「地域公共交通網形成計画案のとりまとめ」、「法定協議会の開催」を予定している。</p> <p>これまで、本市を取り巻く状況と交通課題を整理し、協議会で議論を深め、上記の将来像を実現するための基本方針までを今年度末までにとりまとめる予定としている。</p>	<p>協議会における事業評価の②については自己評価のとおりである。</p> <p>なお、③の計画策定に向けた方針については、ここまで実施してきた事業から導き出された計画の方針をより具体化するとともに、国より示している基本方針等に従いつつ、地域公共交通網形成計画の策定に向けて、地域一体となって事業が進められることを期待する。</p>